

ゆた 豊かさ

話してみよう



ゆた せいかつ き
豊かな生活と聞いて、どんな生活をイメージしますか。



ゆた
「豊かさ」のショートストーリー

- ・ となり
隣のおじいちゃん
- ・ おいしいお肉にくが食たべられるまで
- ・ 手てのひらの100円玉えんだま



となり 「隣のおじいちゃん」

だいがくせいになってひとり暮らしを始めた。大学のそばのアパートに部屋を借りただけけれど、僕の隣の部屋には、年を取った夫婦が暮らしている。アパートの部屋には表札がかかっていないのでその夫婦の名前は知らないけれど、アパートの廊下で会ったときにはいつも挨拶をするし、ときどき立ち話もする。僕の祖父は僕が小さい頃に亡くなった。だから、僕は隣に住んでいる夫婦を「おじいちゃん」「おばあちゃん」と呼んでいる。

隣のおじいちゃんは、昔、大学の先生だったらしい。何を教えていたかは、知らない。大学を定年退職¹⁾した後、奥さんが昔に住んでいたこの地域に引っ越してきたそうだ。

月曜日と火曜日と金曜日におじいちゃんによくアパートの廊下で会う。おじいちゃんは週に3日、卓球教室に通っている。卓球はここに来てから始めたそうだけれど、今では上手になって、ときどき地域の試合にも出ているらしい。卓球教室で友だちもたくさんできて、月に1回は卓球の友だちと山登りに行くそうだ。

卓球だけではない。おじいちゃんは、昔、大学の先生だったこともあって、勉強もたくさんする。卓球がない日は、だいたい市の図書館に行って本を読んでいる。

僕はときどき、おじいちゃんから旅行のお土産をもらう。東京や北海道など日本のお土産だけではなく、先月はエジプトのお土産をもらった。どうしてそんなにいろいろなところを旅行するのだろうかと思っていいたら、大学の研究者とよく研究のための調査に行ったり、学会²⁾に参加したりするのだと教えてくれた。図書館で本を読むだけではなくて、今でも学会で勉強しているなんて、勉強嫌いの僕には信じられない。でも、おじいちゃんはそれも楽しそうだ。

夏休みや冬休みになると、おじいちゃんの娘さんの家族がアパートに遊びに来る。そのときはおじいちゃんの部屋がにぎやかになるので、隣の部屋の僕は、おじいちゃんの家族が来たことがすぐにわかる。一度、アパートのそばの公園でおじいちゃんがお孫さんと散歩しているのを見かけたことがあるけれど、おじいちゃんはとても嬉しそうな顔をしていた。

1) 定年退職：会社の規則でその歳になったら仕事をやめること。日本は65歳が多い。

2) 学会：研究者が研究の結果を発表したり、研究について意見交換したりする場。

ぼくのアパートは古いアパートだから、家賃はそんなに高くない。おじいちゃんは奥さんと二人暮らしだから、おじいちゃんの部屋は僕の部屋より広いと思う。でも、古いアパートに住んでいるぐらいだから、おじいちゃんもお金持ちではないだろう。それでも、おじいちゃんは、なんだか毎日楽しそう。僕はまだ大学生になったばかりだから、70歳ぐらいの自分がどんな生活をしているかなんて、全く想像ができない。でも、このおじいちゃんのように暮らせたらいいだろうなと思う。



「おいしいお肉が食べられるまで」

私は食べられるために生まれてきた牛です。私の一番古い記憶は、生まれて2カ月のときです。自分の番号が書かれたプレートが耳に付けられました。私が牛肉になるまでの全てが記録されるので、何か問題が起こったとき、人は私の情報を探することができます。そして、3カ月が過ぎたとき、鼻にリングを付けられました。痛かったです。でも、これのおかげで、人と一緒に動くときや爪を切ってもらったとき、病気を治してもらったときなどに便利です。

私は1歳になるまでは、時々外に出て散歩をしていました。でも、1歳になってからは、小屋から出してもらえませんでした。おいしい牛肉になるように、あまり運動しないで、たくさん食べて、太らなければならなかったからです。私は10歳になるまでに、6回子どもを産みました。普通は、ここで牛肉になります。

でも、私は幸運でした。ずっと住んでいた小屋から新しい家に引っ越すことができました。自然がたくさんある山の上に家がありました。ここでは、たくさんの牛と一緒に毎日散歩ができました。友達も新しい恋人もできました。そして、また子どもを産むことができました。幸せな時間を過ごせました。

誰でもいつかは死にます。たくさん子どもを産んだ牛は脂が少なく、味が落ちると言われています。もし、牛肉として食べてもらえなければ、ゴミとして捨てられます。私は20歳まで生きました。最後は牛肉となってスーパーで売られて、私の一生は終わりました。

今日、スーパーで買わなきゃいけないのは、キャベツ、にんじん、魚、お肉…。あっ、今日は牛肉のセールしてる！ 今晚はこの牛肉でステーキにしようかな。

家族 : いただきます。

父親 : あれ、ステーキ！？ 今日、特別な日だっけ。

母親 : 牛肉が安かったから、ステーキにしたの。おいしい？

子ども : うん、おいしい！

父親 : 普通の日にステーキが食べられて、今日はいい日だ。

子ども : そうだね。おいしいステーキが食べられて、僕は幸せだ！



「手のひらの100円玉」

僕の母親は、僕のことをあまりほめない。

僕にもいいところはたくさんある（と思う）が、母親はそれらを話すときでも、かならず最後には僕の悪い点について話す。

一つ面白い話がある。僕が高校生のとき、同級生の親たちはよくお互いの子どもを自慢した。スポーツが上手だとか、前回の試験でいい成績を取ったとか、そんなことだ。そんなとき、僕の母親は、僕が高校3年間で一番悪かった成績を例に出して、自分の息子がどんなに勉強ができないかを語った。

そんな僕が国立大学¹⁾に合格したとき、周りの親たちはかなりびっくりしたらしい。彼らは今でも、僕がとても運がよかったから大学に合格したと信じているに違いない。でも、実際には、僕がそんなにばかじゃなかったということだ。

そんな母親だけでも、たった一つだけ、僕がとてもいい子どもだったことを表わす話をよく語ってくれた。それは、100円玉の話だ。

僕がまだ幼稚園に通っていた頃の話だ。僕はその頃、かわいい子どもとして近所の人たちの間で人気があった。そんな近所の人の一人在「好きなものを買ってね」と言って、僕に100円玉を一つくれた。僕は近所の小さなスーパーに行って、お菓子売り場から自分の好きなお菓子を一つだけ取って、それをお店の人に渡した。それは一つ50円だったので、お店の人は僕におつりの50円玉を渡してくれた。僕はその50円を、その近所の人に住む家まで届けて、返した。その人は「これはあなたにあげたお金なんだから、この50円でもう一つ好きなお菓子を買ってもいいんだよ」と言ったが、僕は「いらない」と言った。


実を言うと、僕はこの話をあまり覚えていない。でも好きなお菓子を買って、とてもうれしかった気持ちは、今でも覚えている。子どもの頃の100円玉は僕を自由な気持ちにさせてくれた。このお金で何を買おう。どんなことをしよう。気持ちは大きくふくらんで、本当にいろんなことができると思えることができた。

40代になった今の僕は、同じ100円玉を手にしても、その100円玉を財布の中の他の小

1) 国立大学：国が作った大学。比較的、授業料が安い。

ぜに いっしょ
銭と一緒にしまっておくぐらいだろう。100円玉では、えんだま しゅうまつ で
週末に出かけるデパートで素敵な
ふく か
服も買えないし、とくべつ
特別なときに行くおいしいすし
寿司ランチも食べられない。

でも、すてき ふく
素敵な服を着て、すし
寿司ランチを食べていても、あのじゆう
自由でいろんなことができると
おも
思えた気持ちは手に入らない。

タスク① ^{ないよう} ^{かくにん}
内容を確認しよう 

ショートストーリーの内容を一人一つずつ短く話してみましょう。

タスク② ^{じぶんがた}
自分語りをしよう 

つぎの1)～3)について、まずは自分で考えてみましょう。それから他の人と話し合ってみましょう。

1) 子どもの頃に比べて、今の自分の生活は豊かになったと思いますか。

2) あなたにとって理想的な70代の生活とは、どんな生活ですか。

3) 何かが犠牲になっているから人の豊かさがあると感じることはありますか。

※「犠牲」は、何かの目的のために別の誰かの大事なものを使ったり捨てたりすること

タスク③ もっと深く話そう

テーマ：IT企業きぎょうのアップル（Apple）を作ったスティーブ・ジョブズ（Steve Jobs）氏は、病気で亡くなる前に「私が得たお金や財産は、私が死ぬ時に一緒に持っていけない。私が持っている物は、愛情たっぷりの思い出だけだ。これこそが本当の豊かさであり、あなたとずっと一緒にいてくれるもの、あなたに力ちからをくれるもの、あなたの道みちを明るくしてくれるものだ」と言ったそうです。ジョブズ氏の言葉ことばについてどう思いますか。また、「本当の豊かさ」は何だと思えますか。

<自分の考え>

<他の人の考え>

タスク④ まとめよう

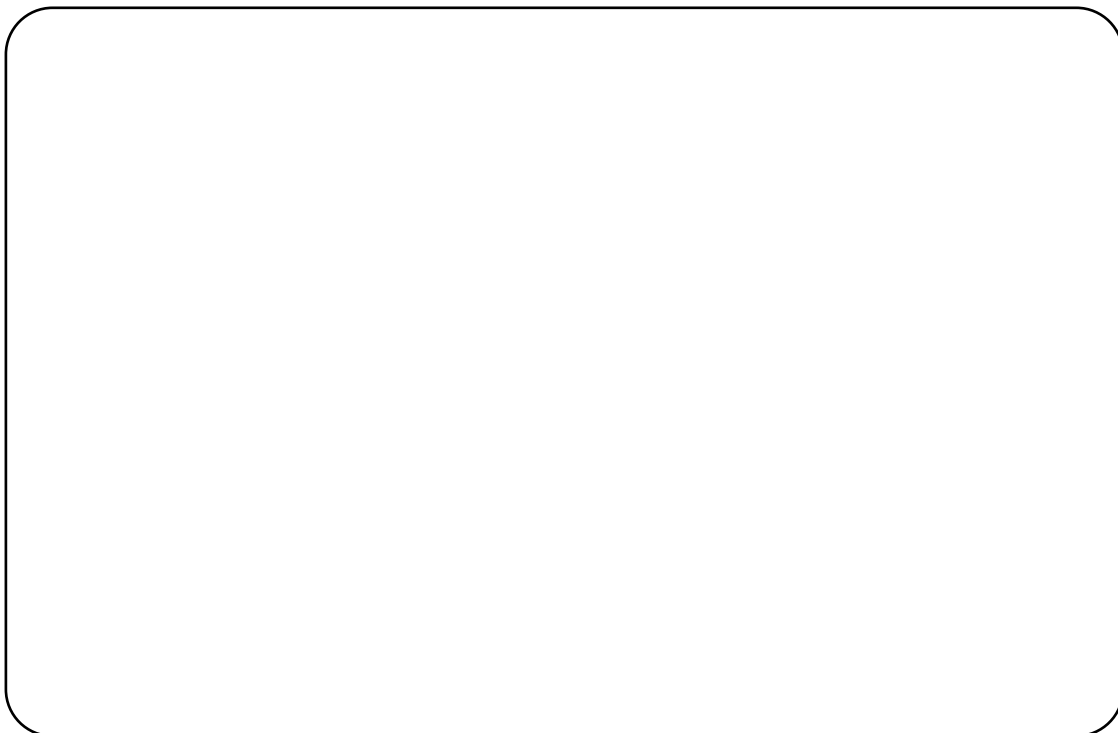
「豊かさ」とは何かを説明する名言めいげん（かっこいい文）を考えてみましょう。

豊かさとは、

★名言めいげんをクラスで紹介しょうかいしましょう。なぜそのような名言めいげんになったのかも説明せつめいしましょう。

+α しら 調べよう

インターネットで、さまざまな形の豊かな生活を送っている人を調べて、紹介してみましょう。



+α あたら ことば 新しい言葉をまとめよう

「豊かさ」で自分が勉強した言葉をマップにしてみましょう。

わたしの「豊かさ」の語彙マップ

便利さ